

# 放射能関係のお知らせ

2016年12月2回(A週)

お届け日:2016/12/5~12/9

発行日:2016/11/21

pal\*system  
生協 パルシステム

本誌は、カタログ掲載の青果について、11/17(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

## ●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	いちご	品目で検査済 どちのみ 検査予定 たまつくり・はが野・うつのみや・佐原・遠州
	キウイ	検査予定 小田原・やはた会・久望
みかん	品目で検査済	小田原・久望
ラ・フランス	品目で検査済	天童・さくらんぼひがしぬ・錦の会・山形マルタ
りんご	品目で検査済	八峰園・ゴーランド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
果菜	きゅうり	品目で検査済 茨城・野菜くらぶ・村悟空・佐原・サンド旭・和郷 果菜類で検査済 谷田部・沃土
	スナップえんどう	検査予定 南伊豆
トマト	品目で検査済	野菜くらぶ・八街
	果菜類で検査済	茨城・元気会・沃土・村悟空・佐原
ピーマン	果菜類で検査済	検査予定 うつのみや
ミニトマト	品目で検査済	茨城・あゆみの会・元気会・サンド旭
	果菜類で検査済	野菜くらぶ・沃土・村悟空・八街・和郷
大葉	品目で検査済	和郷
キャベツ	品目で検査済	たまつくり・海上・三浦EM
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・村悟空・佐原・八街・和郷・風土の会・南伊豆・遠州
小松菜	品目で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ会・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会
	葉菜類で検査済	たまつくり・やさと・草の会・和郷
サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
春菊	品目で検査済	夢みなみ
	葉菜類で検査済	有機農法ギルド・たまつくり・レインボー・あゆみの会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・八街・和郷・風土の会
チンゲン菜	品目で検査済	こまち・あゆみの会・遠州
葉菜類で検査済	茨城・沃土・佐原・和郷	
にら	品目で検査済	元気会
葉菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ・和郷	
ねぎ	品目で検査済	南埼玉
	葉菜類で検査済	常緑・谷田部・茨城・たまつくり・有機農法ギルド・やさと・利根川・沃土・村悟空・佐原・八街・風土の会
白菜	品目で検査済	野菜くらぶ
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・常緑産直・埼玉産直・八街・風土の会
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・常緑産直・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・村悟空・海上・佐原・八街・和郷
	検査予定	南埼玉・サンド旭
ベビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー
ほうれん草	品目で検査済	草の会
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常緑産直・やさと・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
みず菜	検査予定	二本松
葉菜類で検査済	谷田部・茨城・沃土・佐原	

2016年12月2回(A週)

お届け日:2016/12/5~12/9

発行日:2016/11/21

## ●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺のこ
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
まいたけ	品目で検査済 雪国
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済 *いいたけ・しめじから放射能が検出されました

## ●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2016/11/16	13
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのいいたけ			
谷田部の原木いいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン		100	
政府の基準値		100	

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/9/23	3.3
谷田部の若手生産者きのこセットのしめじ			
パルシステムの独自ガイドライン		25	
政府の基準値		100	

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コア・フード 栃木こしひかり	日本の稻作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値		100	

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 293	ひき肉と春雨のオイスターソース炒めセット	2016/10/31	3.8
きなり 342	トのいいたけ		
コトコト 296	体ポカポカ味噌鍋セット		
きなり 346	のいいたけ		
コトコト 111139	食べきり塩ちゃんこ鍋セットのいいたけ		
きなり 350	のいいたけ		
コトコト 111155	香ばしあんかけ焼きそばセットのいいたけ		
きなり -	のいいたけ		
コトコト 111121	白菜と豚ひき肉の中華春雨セットのいいたけ	2016/11/16	13
112186	のいいたけ		
コトコト 111112	焼き酢豚セットのいいたけ	2016/11/7	4.3
345	たけ水煮		
パルシステムの独自ガイドライン		100	
政府の基準値		100	

## ●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

## ●青果の検査について

\* 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。

\* 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。

\* 検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

\* yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています。

## ●青果以外の牛肉・卵・食肉類および、加工品の対象商品はすべて検査をしています。

\* 食類はみりんと料理酒を検査対象としています。

## 放射能はいつまで心配なのですか？

震災から5年8か月、放射能を気にする人は減ってきています。しかし、 Chernobyl では、5年過ぎてから甲状腺ガンの発症が多発したとされていて、急速に放射能への意識が高まりました。 Chernobyl は野山に自生しているものを採取し、販売することもあり、市場で NaI 放射能計測機を設置して、検査を行っているところもあります。日本では、現在、特定の品目を対象に検査を行っていますが、牛肉のように多くの検査を行っているものと、ほとんど行われていないものがあります。（＊牛の全頭検査も減らしていくことが決まっています）

### ● 最近の輸入食品の検出情報

東京都の食品衛生の窓では、過去の都内流通食品の放射性物質検査結果を公表しております。平成27年度は検出事例がありませんが、平成26年度では、4件の検出事例があり、ポルチーニ茸（乾燥・冷凍）が25～64Bq/kg 検出されています。

（<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/ryuutuu/kako.htmlshokuhin/ryuutuu/kako.html>）

また、厚生労働省では、輸入食品監視業務の違反事例として、平成28年度は、ウクライナ産のブルーベリーから放射性物質（セシウム）180 Bq/kg が検出されて、積戻しとなっています。平成27年度では、ブルーベリー・ビルベリー・きのこ違反事例があり、廃棄もしくは積戻しとなっています。

（[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/shokuhin/yunyu\\_kanshi/ihan/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/yunyu_kanshi/ihan/index.html)）

日本とロシア・ヨーロッパの土質の違いもあり、海外産のブルーベリーの検出率や検出量が高くなっていますが、日本では、2015年度の行政による国産ブルーベリー検出事例は、6件で最大値は18Bq/kgでした。

### ● 放射能を注意するということ

Chernobyl 事故では、ベリー類やポルチーニに集中して放射能が残留やすいようです。 Chernobyl 原発事故から30年がたちましたが、100Bq/kg を超える検出が見つかっています。

ポルチーニ茸は自生のため検出しやすいようです。また、ベリー類は砂質土壌で栽培されており、ミネラル分に乏しい土壌ではセシウムなどのミネラル類を吸収しやすくなります。

日本の場合は、野山に自生している山菜および野生生物では高い放射能の検出がみられます。

日本の土壌が粘土質や腐食に富んだ土壌のため、作物が集中して放射能を吸収する土壌ではなく、また、日本では施設栽培が盛んで、ハウスやトンネルを使用しており、土壌の汚染が大きくなかったことが長期に放射能に汚染されるのを防いだと考えられます。

### ● 危惧されること

これまでにも出荷禁止区域、採取禁止区域から採捕された農畜産物が一般流通してしまうことがありました。

採取可能な地域であっても、静岡県や長野県など事故のあった原発より遠く離れている地域でも、山のきのこから国の規準値の100Bq/kgを超えているものがみられます。

山から採取してきた枯葉を腐葉土にして、畑に鋤きこむような可能性もあります。パルシステムでは、栽培管理を行い肥料や農薬の使用状況を確認しています。

放射能が検出される可能性を常に見続けていく必要があります。

半減期30年というのは、30年たって当初のようやく半分になるということです。セシウム137が半分になるまでにまだ24年4か月必要です。それでもゼロになるのはいつなのかはわかりません（ゼロにはならないという意見もあります）。

パルシステムでは、放射能が少しだとしても、影響があるという姿勢で、今後も検査をつづけていきます。

## 行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について（第1006）」（2016/9月上旬～11/2で採取・購入された検体検査）より国の定めた基準値セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体の上位数点です。

原木シイタケ：千葉県匝瑳市ほか 3.5～62Bq/kg

ナラタケ：新潟県南魚沼市・青森県階上町 5～21Bq/kg

スズキ：茨城県利根川（神栖市太田地先）ほか 0.55～44Bq/kg

ツキノワグマ肉：新潟県三条市 20Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体の上位数点です。

シモフリシタケ：福島県南会津町 39Bq/kg

原木シイタケ：福島県会津若松市・伊達市 4.2～28Bq/kg

ナメコ：福島県磐梯町・伊達市ほか 3.1～27Bq/kg

ムキタケ：福島県下郷町・会津美里町ほか 5.7～26Bq/kg

ヤマメ：福島県伊達市・桑折町・大王村ほか 28～46Bq/kg

イワナ：福島県福島市天戸川（阿武隈川水系）ほか 9.2～32Bq/kg

## 10月～11月の放射能検査状況

10月は、しいたけは原木しいたけから3件（6.9、8.1、8.1Bq/kg）、お料理セットのしいたけから3件（3.8、4.3、8.1Bq/kg）の検出がありました。米からは、栄木こしひかり（玄米）から2件（3.9、4.1Bq/kg）の検出がありました。その他からの放射能の検出はありませんでした。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。

11月は、11日まで、しいたけからは原木しいたけから1件（8.3Bq/kg）、お料理セットのしいたけから1件（4.3Bq/kg）の検出がありました。その他加工食品からはブルーベリー＆ルテインから1件（6.5Bq/kg）の検出がありました。乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。

検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

### 放射能検査の状況（検査件数、かつて内は検出数、網がけは検出された分類）

	10月	11月		10月	11月
青果	44(0)	30(0)	卵	0(0)	0(0)
しいたけ	7(6)	3(2)	魚介類	34(0)	14(0)
他のきのこ類	12(0)	2(0)	飲料水・飲料	3(0)	6(0)
米・米飯類	37(2)	2(0)	乳幼児用食品	26(0)	10(0)
牛乳・乳製品	10(0)	8(0)	その他加工食品	260(0)	111(1)
肉類	8(0)	0(0)	合計	441(8)	186(3)

### 2016年度の放射能検査の状況

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2016年1月に小田原の伊予柑から5.3Bq/kg、2016年2月に小田原のはっさくから4.8Bq/kgが検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけ（3.1～12Bq/kg）、しめじ（ひらたけ）が（3.3～3.5Bq/kg）で放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地65検体の検査を行いました。日本の稻作を守る会の栄木こしひかり（玄米）を検査したところ、2件（3.9、4.1Bq/kg）の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 * 放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栄木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行ってますが、すべて不検出です。
その他加工食品	＜お料理セット＞肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮（3.4～11Bq/kg）から自主基準内ですが検出しています。その他の菌類からの検出はありません。 ＜大豆加工品＞豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。 ＜その他＞サプリメントのブルーベリー＆ルテイン（6.5Bq/kg）から自主基準内で検出がありました。

## パルシステムの放射能検査について

### ● 独自ガイドライン（自主基準）と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン（自主基準）を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準（独自ガイドライン）（セシウム134,137の合計）			国の規格基準
2014年10月より現行基準		現	旧
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類（きのこ類除く）、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類（しいたけ除く）	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

\* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。（単位Bq/kg）

乳幼児用食品は「yummy」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界（セシウム134,137それぞれ）		
2016年4月1日から新基準に変更		
乳幼児用食品	1	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

### ● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産（新潟・長野・静岡以東の本州産）
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

## 新規加入の組合員のみなさんへ

新しく加入された組合員のみなさんには初回ご利用から毎月1回企画発行の「パルシステム放射能レポート」をお届けしています。継続配付をご希望の方は注文番号190888でお申し込みください。タベソダではお届けしておりません。「放射能関係のお知らせ」はオンラインのみのご案内になります。